



30.10.19
陸幕広報室

平成30年度方面隊実動演習（東北方面隊）「みちのくALERT2018」の概要について

陸上自衛隊は、以下のとおり平成30年度方面隊実動演習（東北方面隊）を実施いたします。

1 目的

三陸沖地震等発生時における災害対処を実動により訓練し、自衛隊、米軍、自治体、関係省庁、関係機関等との連携強化及び東北地区の災害対応能力の向上を図る。

2 期間

平成30年11月9日（金）～11月11日（日）

3 使用予定地域

東北方面区及び同周辺海・空域

4 担任官

東北方面総監 陸将 あがりお ひでき
上尾 秀樹

5 参加部隊

(1) 自衛隊

東北方面隊を基幹とする陸上自衛隊（陸上総隊、東北方面隊、東部方面隊等）、海上自衛隊（自衛艦隊、航空集団、横須賀地方隊、大湊地方隊等）、航空自衛隊（航空総隊、航空支援集団、北部航空方面隊、中部航空方面隊、航空救難団）

(2) 米軍

第3海兵機動展開部隊

(3) 関係機関等

東北6県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）の自治体、関係省庁、関係機関等

6 訓練概要等

(1) 想定

三陸沖地震、内陸型地震及び豪雨が複合した事態

(2) 実施要領

ア 総合訓練（11月9日（金））

初動対応（緊急登庁、活動拠点等への部隊等の移動）等の発災後の一連の行動を実動により実施

イ 機能別訓練（11月10日（土）、11月11日（日））

各自治体、関係機関等と連携し、人命救助、搜索救助、原発対処、物資輸送等の訓練を実施

7 特 色

- (1) 東日本大震災や近年の災害等の教訓を踏まえ、自治体、関係機関等の参加を得て実施される自衛隊主催の大規模災害対処訓練
- (2) 「みちのくALERT」としては、初めてS I P 4 D (※)を活用し、自衛隊、自治体、関係機関等の情報共有を実施
- (3) 東北方面隊と水陸機動団が協同し、水陸両用車(AAV)を活用した人命救助、搜索救助訓練を実施
- (4) 米軍とMV-22オスプレイ等を活用した人命救助、搜索救助、患者空輸、物資空輸等に係る共同訓練を実施

※S I P 4 D (Shared Information Platform for Disaster Management)

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、三井(担当)

(03-3268-3111 内線40083)